

令和4年度 田彦小学校グランドデザイン

【本県の教育目標】
ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
郷土を愛し協力しあう心を育てる

【茨城県総合計画】
『活力があり、県民が日本一幸せな県』
Ⅲ「新しい人材育成」

【学校教育目標】
自ら学び心豊かにたくましく
生きる児童の育成

【ひたちなか市の学校教育目標】
○ひとりひとりの能力を開発し、豊かな人間性をつちかいます
○じょうぶな身体をつくり、たくましい心を養います
○家庭や地域と力をあわせ、豊かな心を育みます
○ふるさとを愛し、協力しあう心を育てます
○世界に視野を広げ、国際人としての自覚を高めます

目指す学校の姿

- ・学ぶ楽しさに満ち明日が待たれる学校
- ・豊かな心と体を育む潤いと活力のある学校
- ・保護者や地域に信頼され共に歩む学校

目指す児童の姿

- ・よく考えるこども
- ・思いやりのあるこども
- ・体をきたえるこども
- ・すすんで働くこども

目指す教師の姿

- ・指導力と実践力のある人間性豊かな教師
- ・一人一人に目を配り夢を育む教師
- ・組織の中で生き生きと協働する教師

学校経営の重点
児童への愛情、保護者との信頼を基盤とし、児童一人一人のよさを活かす

重点施策

確かな学力の育成のために	豊かな心の育成のために	健やかな体の育成のために
<p>【学ぶ喜びを味わうことができる授業を工夫する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎自分で考え表現する場の設定 ○学習規律の確立と基礎基本の定着 ○「分かる、できる」喜びを実感できる学習活動の工夫 ○主体的・対話的な学びによる思考力の育成 ・授業展開（課題設定・提示）の工夫 ・考える場、伝え合う場の設定 ・学び合う場の設定 ・適用問題、振り返り活動の充実 ○学ぶ意欲を高める分かる授業の工夫 ・ICTの効果的な活用 ・専科指導（理科）、TT、少人数指導（算数）の充実 <p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容が分かる 90%以上 ・自分の考えや意見を表現し、伝えることができる (児童：80% 教職員：85%) 	<p>【すべての教育活動の基盤となる望ましい人間関係をつくる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎相手を思いやり自分の思いを表現する場の設定 ○元気なあいさつが響く学校 ・自分から心を込めたあいさつ ○よさを認め合える温かい学級づくりを通じた居場所づくり ○自ら考え、活動を創り出す特別活動の充実 ○道徳科の授業の充実 ・「考え、議論する道徳」の授業展開 ○縦割り班活動の工夫と充実 ○豊かな体験活動の実施 ○特別支援教育の充実 ○心の安定を図る環境の整備 <p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校が楽しい 90%以上 ・進んであいさつができる児童 90%以上 ・年間50冊読書 85%以上 ・道徳の授業公開 1回 	<p>【豊かな学びを支える健康な心と体をつくる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎自他の元気と安心・安全を考える場の設定 ○運動に自ら進んで親しむ意欲の向上 ・体育の授業の充実 ・業間運動、外遊びの奨励 ○立腰指導の実践 ○望ましい食習慣や健康に関する自己管理能力の育成 ○安全教育の充実（自分の身は自分で守る教育とスキル） <p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで運動に折り組んでいる 85% ・休み時間外で遊ぶ 85% ・手洗いをきちんと行っている 100%

組織目標
自分の考えをもち
表現できる場の設定を多くする

行動目標 4つの「あ」
あ んぜん あ いさつ
あ りがとう あ きらめない

地域とともにある学校づくり

安全・安心な学校づくり	地域と協働する学校づくり	連携の強化	信頼される教職員
・自分の身を守る力を育てる	・育てたい児童像の地域との共有	・HPでの情報発信	・協働性、同僚性を高める
・いじめ未然防止と早期対応	(地域の願いを反映した学校運営)	・保幼小中の連携	・研修の充実による資質の向上
・安全教育の充実	・地域人材の積極的な活用	・関係機関との連携強化	・学校組織の活性化と人材育成
・安全点検と確実な対応	・コミュニティ・スクールの充実		・コンプライアンスの確立

【経営理念】

- 一人一人の個性を生かしながら自主性・自立性を育み、活気ある笑顔いっぱいの学校づくりを目指します。
- 働き方改革を推進し、教育活動の充実とともに教職員のワークライフバランスの充実を図ります。
(時間外勤務時間を月45時間以内(年360時間以内)に収める)